

# 参考基準範囲変更のご案内

2021年2月より、以下の項目で富士フイルムグループの参考基準範囲を変更いたしました。

項目名	新参考基準範囲		単位
	イヌ	ネコ	
T-Chol	115~337	95~259	mg/dL
TG	23~149	16~130	mg/dL
Cre	変更なし	0.90~2.10	mg/dL
T4	1.00~2.90	変更なし	μg/dL
ALP (1歳齢以上)	89以下	58以下	U/L
ALP (1歳齢未満)	24~117	27~125	U/L
LDH	109以下	187以下	U/L
Mg	1.6~2.4	1.6~2.8	mg/dL
CK (CPK)	49~166	87~309	U/L

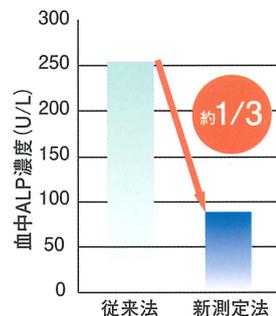
## ① 参考基準範囲の見直し

参考基準範囲の根拠となるデータ数を増やして再検討し、一部項目を改訂いたしました。より臨床に即したデータとなるよう改良しておりますので、ご参照ください。

## ② 測定方法の変更

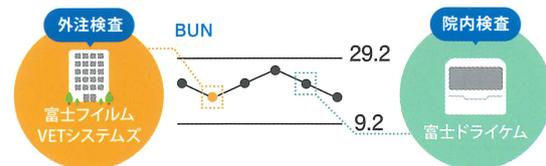
ALPの測定方法を国際標準法(IFCC法)へ変更し、測定値および参考基準範囲が従来の約1/3となりました。これは測定条件による酵素活性値の違いであり、臨床的意義に大きな差異はありません。

【測定結果変更のイメージ】



## ③ 共用化項目の追加

富士ドライケムと外注検査の測定値および参考基準範囲を統一する「共用化」に取り組んでまいりました。この度、LDH、Mg、CK(CPK)を含む富士ドライケム動物専用スライド全項目で共用化を実現しました。



## カリウム(K) 血清における参考基準範囲を新設いたしました

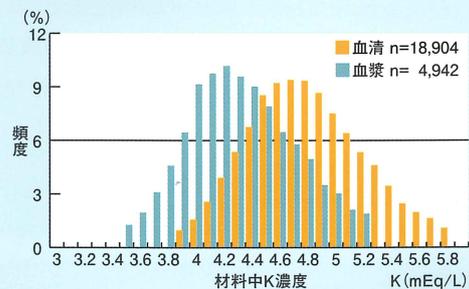
Kは血小板中に含まれ、血液凝固時に血清中に放出されます。

そのため、血清・血漿それぞれの測定値に差異が生じることが知られています。

弊社では富士ドライケムと外注検査サービスの参考基準範囲共用化の一環として、血漿での参考基準範囲を採用しておりましたが、この度新たに血清の参考基準範囲を設定いたしました。

2021年2月より、外注検査サービスでは報告書に血清における参考基準範囲を記載しております。

【血清群・血漿群におけるK測定値ヒストグラムの差異】



弊社の健康診断を受診した犬の集計データより群間の血小板数に有意差なし

〈材料別参考基準範囲〉

K (mEq/L)	血清	血漿
イヌ	3.9~5.5	3.8~5.0
ネコ	3.6~5.3	3.4~4.6